

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 **グアテマラ共和国** 



【表紙の写真】

(上) **グアテマラの美しい織物と、
その民族衣装を着る女性**

(下) **マヤ遺跡の代表格「ティカル」**
深い森の中、樹々よりも高く作られた
ピラミッド型の神殿

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜグアテマラ共和国?

第1章 グアテマラってどんな国?

= 美しい民族衣装をまとう、
マヤ文明中心の地 =

- 05 アメリカ大陸を旅する、グアテマラで何する?
- 09 森の中、その遺跡を見に行こう
- 11 鮮やか! 民族衣装ウィピル
- 13 コーヒー豆の旅じたく
- 15 フォトギャラリー ~旅はチキンバスに乗って~
- 17 ちょっとブレイク ~国旗の由来・定期市~

第2章 へえ~! グアテマラと日本

- 19 意外と似てる? グアテマラと日本
- 21 グアテマラ人が見た日本、日本人が見たグアテマラ
- 23 グアテマラの教育ウソ? ホント?
- 25 ちょっとブレイク
~おいしいコーヒーをどうぞ~

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

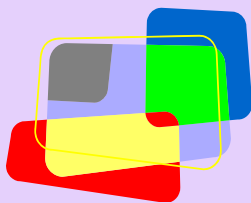
- 27 二度とふたたび...
- 29 手から伝わる物語
- 33 ちょっとブレイク

第4章 そして未来へ

- 35 未来を語ろう!
~忘れない、日本の強さと世界の優しさ~

参考資料

- 39 目で見るグアテマラ
- 41 グアテマラ地図
- 43 参考文献・データ等の出典
- 43 ご協力いただいた方たち
- 43 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

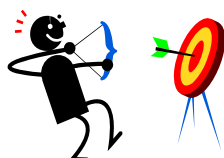
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、グアテマラのほんの一面です。本書だけでグアテマラのすべてがわかるわけではありません。グアテマラに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(公財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(公財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。(http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html)

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使ってくださいプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜグアテマラ共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、**グアテマラ共和国**のホームシティは、半田市でした。



愛知万博 / 中米共同館



グアテマラ共和国

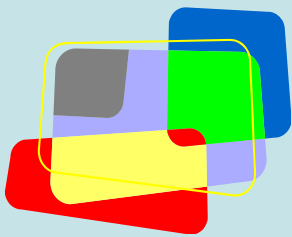
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グアテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主人民共和国 サモア独立国 ザンビア共和国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノルウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシメット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人民 ジャマ・ヒー・ヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国




第1章

グアテマラってどんな国？

= 美しい民族衣装をまとう、
マヤ文明中心の地 =



アメリカ大陸を旅する、グアテマラで何する？

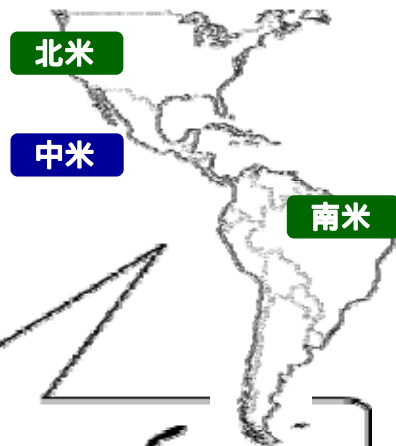
 旅人気分になってグアテマラと出会おう!



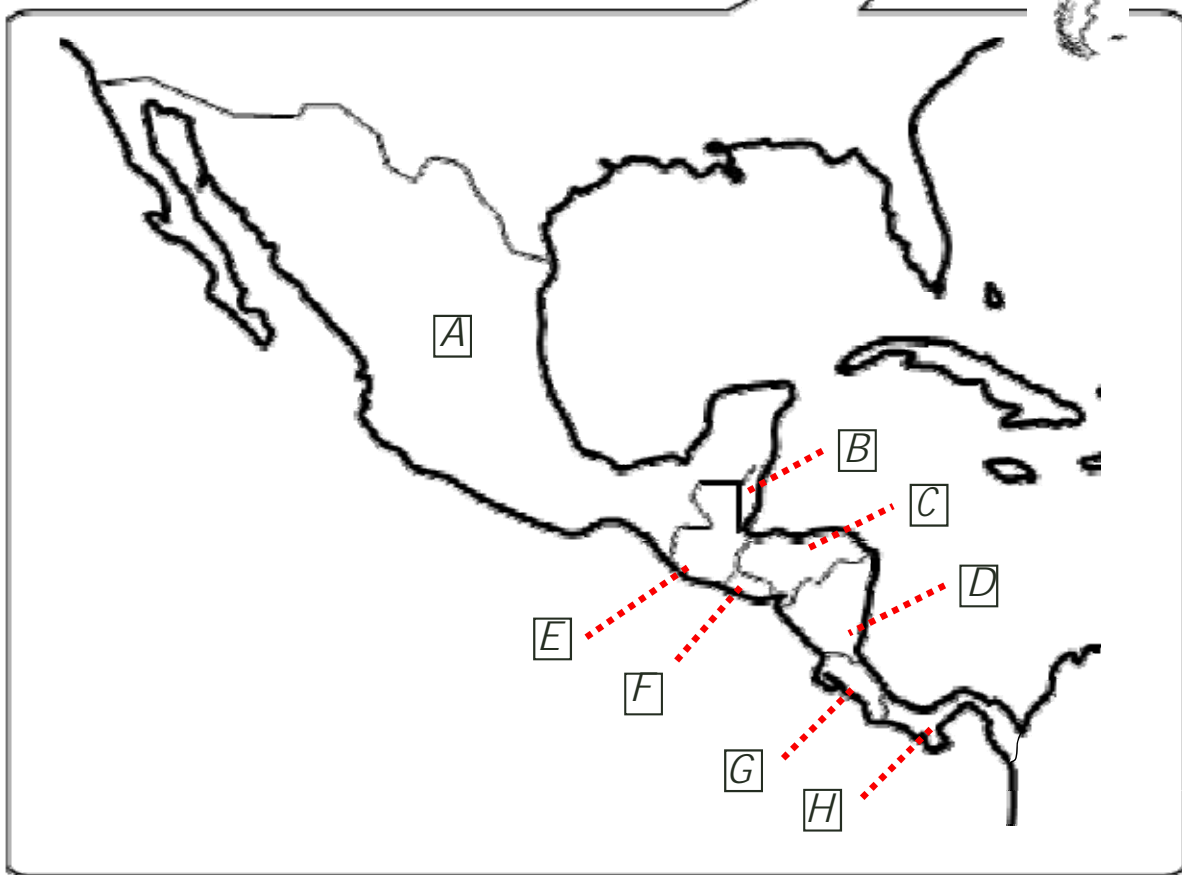
- ① グアテマラは、中央アメリカ(中米)に位置する国です。では、その中央アメリカにはどんな国々があるのでしょうか。そして、グアテマラはどこにあるのでしょうか？

P.7・8の、「国の紹介」「言葉(公用語)」「国旗」をカード形式に切り取り、下のA~Hの国々に当てはめてみましょう。

(※地図は必要に応じて拡大コピーしてください。)



中米エリアマップ



- ② どうでしたか？
答え合わせをしたら、話されている言葉ごとに地図に色を塗ってみてください。
- ③ では、北米、南米の国々ではどんな言葉が話されているのでしょうか。調べてみましょう。
- ④ あなたはアメリカ大陸を北から南へ旅をすることにしました。旅の途中、グアテマラではどう過ごしますか？
地図に旅のルートを書き込み、どこで何をみてどんな風に過ごすか、計画を立ててみてください。
- ⑤ みんなの計画にはどんなものがありましたか？ 見せ合ってみましょう。
- ⑥ 旅人にとってグアテマラはどんな国でしたか？
感想を話し合ってみましょう。



グアテマラ人は、日本人と同じモンゴル系。遺伝子的に分析した結果、マヤ人は日本人の遠い親戚にあたるといわれています。



1

	国の紹介	言葉	国旗
A	④ メキシコ	c スペイン語	エ
B	⑦ ベリーズ	a 英語	キ
C	③ ホンジュラス	c スペイン語	カ
D	⑤ ニカラグア	c スペイン語	オ
E	① グアテマラ	c スペイン語	ウ
F	② エルサルバドル	c スペイン語	イ
G	⑥ コスタリカ	c スペイン語	ア
H	⑧ パナマ	c スペイン語	ク

グアテマラってどんな国？

グアテマラは、中央アメリカの一番北に位置する国。面積は108,889 km²で、日本の約3分の1の大きさです。一般的にはマヤ文明の遺跡とコーヒーが有名ですが、世界遺産の古都アンティグアや、世界一美しいと称されるアティトラン湖など、観光資源も豊富です。また、マヤ系先住民族の人々が着る色鮮やかな民族衣装も魅力のひとつとなり、多くの旅行者が訪れています。中でもアンティグアは人気が高く、ここでスペイン語を学び、中米諸国や南米大陸へと向かうのが旅行者たちの定番コースになっています。そのため、市内には簡単な旅行会話から本格的に学ぶものまで、数多くのスペイン語学校が存在しています。

●常春の国

グアテマラの国土は、南部の山岳高原地帯と太平洋海岸地帯、北部の平原地帯に分けられ、人口のほとんどが高原地帯に住んでいます。地理的には熱帯圏にあるグアテマラですが、高地は涼しく、一年中気温が20℃前後。その安定した住みやすい気候から、「常春の国」といわれています。

●薪になる木の豊かな場所

国名の由来は、ナワトル語の「クアウテマラン」で、「薪になる木の豊かな場所」という意味です。山々がもたらす雨が豊かな森と肥沃な大地を育て、深い緑に覆われたグアテマラは「森の国」とも呼ばれています。グアテマラからメキシコ、ベリーズへと広がるマヤ森林地帯は、南北アメリカの中でアマゾンにつづいて重要な熱帯雨林とされています。



【中央アメリカとは】

メキシコ南部からパナマ国境まで、地理学上は、メキシコのテワンテペク地峡からパナマ地峡までを指します。一般的には、グアテマラ、ベリーズ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマの7カ国が中央アメリカとされています。

メキシコは、地理的には北アメリカですが、スペイン語圏であることや文化的の違いなどから、しばしば中央アメリカに分類される場合があります。





●点線でカードになるよう切り取り、地図に置いていってみましょう。

<国の紹介>

1 グアテマラ

マヤ文明の中心だった土地で、世界的にも最大規模の遺跡が残る。各地で開



かれる市場や色鮮やかなマヤの民族衣装も魅力。国旗には国鳥であるケツァールが描かれている。

2 エルサルバドル

中央アメリカで一番小さな国。火山国で、各地に美しい山と湖水が点在するほか、



マヤの古代遺跡も残る。国旗中央の紋章に描かれているのは、外国からの開放を象徴する「自由の帽子」。

3 ホンジュラス

マヤ文明の遺跡コパンが観光名所。神殿や石碑に施された美しい彫刻が特徴。



カリブ海に浮かぶバイア諸島は、ダイビングスポットとして人気。国旗の青い帯は、太平洋とカリブ海を表す。

4 メキシコ

砂漠のような大地と、密林におおわれた山岳地帯を持つ、スペイン語圏で最大の



国。代表料理は、トウモロコシの粉で作るトルティーヤに具とサルサをのせた「タコス」。

5 ニカラグア

太平洋とカリブ海に接する、計800kmを超える海岸線を持つ国。中米最大の規



模を誇るカテドラル(キリスト教の聖堂)がある。世界遺産にも登録されていて、歴史の重みと風格が漂う。

6 コスタリカ

国土の4分の1が国立公園や自然保護区に指定されている、環境の先進国。



平和憲法をかかげ、軍隊を持たない国。美しい自然と平和な暮らしから、「中米の花園」と呼ばれている。

7 ベリーズ

1981年に独立した、アメリカ大陸で一番新しい独立国。西半球最大のサンゴ礁



があり、透明度は世界有数。その美しさから「カリブの宝石」と称される、カリブ海のリゾート。

8 パナマ

太平洋と大西洋を結ぶパナマ運河が有名。海から海へと抜ける運河クルージング



では、雄大な景色が目の前に広がる。世界遺産コイパ国立公園では、ホエールウォッチングも楽しめる。





<言葉(公用語)>

a 英語

b フランス語

c スペイン語

d ポルトガル語

<国旗>

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ



ク



森の中、その遺跡を見に行こう



中米に広く栄えたマヤ文明。それはどんな文明だったのか、遺跡を見ながら考えてみよう!



- 1 マヤ文明について、どんなことを知っていますか? 思いつくものを出し合ってみましょう。
- 2 マヤ文明最大の都市遺跡「ティカル」は、グアテマラ北部の深い森の中にあります。巨大な神殿は高いもので70mを超え、ジャングルの樹々よりもさらに上へとそびえ立っています。

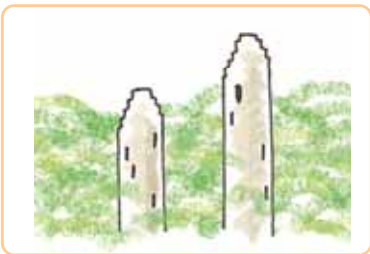


黒山真弓

ここでマヤ三択クイズ!

この神殿、全体はどんな形をしているのでしょうか? 森に隠れている部分を想像してみてください。

A 細長い塔になっている



B ピラミッドになっている



C 実は全部つながっている



- 3 神殿は宗教儀式に使われていたといわれていますが、古代マヤの人々は、ほかにもあることをしていました。それはどんなことでしょうか?

A

天体観測をした



B

雄大な景色を
絵に残した



C

食糧になる
獲物を狙った



- 4 マヤの遺跡には、下のような模様の彫刻がよく見られます。これは一体何でしょうか?



A

王様の似顔絵

B

マヤの文字

C

何なのか、
まだ解明されていない

- 5 クイズをやってみて、マヤ文明はどんな文明だったと思いますか? 特徴や感想など、自由に話し合ってみましょう。



ティカルのうち最も高い4号神殿は、アメリカの自由の女神よりも高い70m。ニューヨークの摩天楼ができるまでは、アメリカ大陸で一番高い建物でした。



P.9のこたえと解説です。



マヤ文明とその遺跡を通じて、グアテマラの魅力に触れよう。

2 B ピラミッドになっている

3 A 天体観測をした

4 B マヤの文字

ここがスゴイ！ マヤ文明の特徴



▲ティカル神殿 (グアテマラ)

黒山真弓



▲エツナ神殿 (メキシコ)
ティカルとは違う形をしている

wikipedia



▲マヤ文字の彫刻／キリグア遺跡 (グアテマラ)

wikipedia

●独立した都市国家

マヤ文明とは、現在のメキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ベリーズ、エルサルバドルにまたがる、中米の広い地域に2,000年以上にわたって栄えた文明です。最盛期は紀元300年から900年ごろ、日本でいうと奈良時代です。アステカやインカといった古代文明が広い領土を有する一大帝国を築いたのに対して、マヤ文明は中米各地で都市国家を築き、それぞれ独立した生活をしていました。そのため、遺跡にも様々な建築様式があり、各都市の個性が表れています。

巨大なマヤの建造物ですが、何もないところから一気に作られたわけではありません。古い時代の建物を何度も増改築し、その上を覆うように新しい建物が作られ、層のように重なり合っています。

●驚くべき数学、暦学、天文学

神殿は宗教と密接に結びつき、儀式等に使われていたといわれています。ピラミッドの中には、天体観測用のものもありました。マヤ文明は農耕文明で、作物の栽培と収穫に季節の移り変わりを予測することがとても重要だったのです。最上階の観察部屋で太陽、月、星、惑星の動きを観測し、そのデータから独自の「マヤ暦」を作りました。望遠鏡などないこの時代に、すでに1年を365.2420日と割り出し、現在との誤差はなんとわずか0.0002日。天体の周期を計算して暦を作るほど優れた数学能力があり、どの文明よりもさきがけて「0」の観念を持っていました。

●高度な文明の証、マヤ文字

まるで絵のように見えるマヤ文字、その起源は紀元前にまでさかのぼり、持ち運び可能な小石や山壁面などに原初の文字が見られています。人や動物の頭をかたどった頭字体、幾何的な文様の幾何体、全身像で表された全身体などの文字があり、それぞれ異なる複雑な文字体系を持っていました。文字は、表語文字と音節文字の混合体系、つまり、漢字と仮名表記と同じ仕組みです。

●全て人力

建築、農耕、天文学、文字など、高度な都市文明を持っていたマヤですが、銅や鉄などの金属器を持たない石器文明でした。家畜も車輪もなく、壮麗なピラミッドは全て人力で作られています。畑も、鋤も鋤も使わず人力だけで耕し、他の都市との遠距離交易は、物品をかついで行っていました。細かなマヤ文字の彫刻も、硬い石の道具で彫られているのです。

マヤ文明中心の地、グアテマラ

【マヤ文明分布図】



古代メソアメリカにおいて、グアテマラはマヤ地方の中心地でした。物が南北に移動する際グアテマラを通っていたこと、利器に使用される貴重な石である黒曜石や装飾品に使われるケツァールの羽などの供給源だったことなどから、地域間交流において重要な役割を担っていたことが分かっています。

マヤ文明の遺跡は中米各地に数多く残されていますが、その代表がグアテマラのティカルです。同じ場所に1,000年以上にわたって栄えた都市は世界史上とても珍しく、遺跡の規模も世界最大級。マヤ文明の政治、宗教、経済の中心地で、「マヤの都」と呼ばれています。



グアテマラでは考古学のシンポジウムが毎年開かれています。研究者にとって重要な情報収集の場で、メキシコ・ホンジュラス・エルサルバドル・ベリーズの発掘調査隊も参加するようになってきています。

鮮やか！民族衣装ウィピル

① ? グアテマラの魅力のひとつ、民族衣装を見てみよう!

- ① グアテマラで、鮮やかな民族衣装を着た先住民族マヤの人々に出会いました。下の写真はその一部。まずは写真を見ながら、印象や感想を自由に話し合ってみてください。



黒山真弓

- ② マヤの民族衣装の代表は、女性の貫頭衣(ブラウス)「ウィピル」。色鮮やかな糸で模様が織られたり刺繍がほどこされたりしています。衣装のデザインは、実はあることによって異なります。それは何だと思いますか？ 次の3つの中から選んでみてください。

A 信仰する宗教によって違う

B 住んでいるところによって違う

C 占い師に見てもらった自分の運命によって違う

- ③ 日本の民族衣装といえば「着物」ですね。自分の国の民族衣装を着たとき、あなたはどんな気持ちになりますか？ 話し合ってみましょう。

- ④ では、マヤの人々にとって、民族衣装とはどんな存在なのでしょう。意見を出し合ってみましょう。



サポテンに寄生するコチニールカイガラムシという虫がいます。この虫からは鮮やかな赤い色の染料が取れ、数百年も前からグアテマラの織物に使われていました。かつては、貴重な貿易品でもありました。



鮮やかに表れる、マヤのアイデンティティ

1 B 住んでいるところによって違う

グアテマラの人口は約1,230万人、そのうち先住民族が占める割合は中米で最も高く、約60%を占めています。先住民族はマヤ、ガリフナ、シンカですが、ほとんどがマヤ系です。言語も、30あるマヤ語のうち22がグアテマラにあります。

マヤの人々は、古代マヤ文明のころから引き継がれる伝統的な手織りの民族衣装を身にまとして日常生活を送っています。色や模様、様式は村ごとに異なり、衣装を見ればどこ出身か分かるほど。その数約90種類あまりです。機織りは女性の仕事で、着るものや生活で使う布を各家庭で作ります。その技術は、親から子へと何世代にもわたって脈々と受け継がれ、現代に至っています。伝統文化がこれほどまでに生活の中に息づいている国は世界でも珍しく、グアテマラの大きな特徴であり魅力となっています。



黒山真弓

グアテマラはかつて、スペインの植民地でした。激しい征服を受ける中、スペインの文化を表面的に受け容れながら、伝統的な文化はひっそりと守り、それらを融合させて独自の文化も生み出してきました。先住民族の人々にとって、民族衣装を着ることは先住民族としての誇りであり、アイデンティティの証なのです。

スペイン人が来る前は男性も民族衣装を着ていましたが、今はあまり見なくなりました。町で働くとき、先住民族だからという理由での差別を受けないために脱ぎ捨てた人が多いのです。時代の変化とともに、民族衣装でも機械折りで大量生産されたりミシンで刺繍を入れたりしたものが出てきています。また、アメリカから安い古着も入ってきます。国の財産である伝統文化をいかにして守っていくかは、グアテマラの課題のひとつです。とはいえ、民族衣装が大切な存在であることには変わりありません。普段は安い市販のものを着用していても、お祭りや結婚式には手織りのものを身につけます。日本も、普段は洋服でも、お祭りや冠婚葬祭では着物を着ることがありますね。大切な日の正装として、民族衣装を着ています。

宇宙を身にまとう、マヤの色彩

マヤ・キチェ族の神話「ポポル・ウーフ」に、人間は神々によってトウモロコシから作られたと書かれています。マヤの世界では、その神話が成り立つ以前からトウモロコシを主食にしてきました。「トウモロコシは命の源で神聖なもの。人は死んだら土にかえり、トウモロコシとなってまた命となり、全ては循環している。」そう考えられ、自分たちを「トウモロコシの人間」と言うほど大切にしています。

グアテマラでよく作られているトウモロコシは、白・赤・黄・黒の4色の種類。民族衣装にはこの4色と、YAX(ヤシ)という緑と青の間のような色が色彩の基本としてよく使われています。色にはそれぞれマヤの宇宙観に基づいた意味があり、それらを組み合わせて作られた布は、マヤの信仰心と命に結びついています。女性は妊娠すると産着用の布を織り、産まれてきた赤ちゃんを包みます。人が亡くなると、故人の衣服や使っていた布が棺に納められ、共に土へとかえっていきます。



◆色が持つ意味

白・赤・黄・黒の4色は方角を、YAXは四方の中心に立ち天地をつなぐ軸を意味します。

- [白]** 冷たい風が吹いてくる「北」。霊的な魂の部分
- [赤]** 日が昇る「東」。太陽が生まれるところ、人間・神・命が出てくる明るさや動き、音を表す
- [黄]** 大地の「南」、トウモロコシの色。大地から命が芽吹く、生命力の象徴
- [黒]** 日が沈む「西」。太陽が沈む=死を表し、暗闇・沈黙・静けさ・神秘を表す



伝統的な民族衣装ウイビルですが、時代やそのときの流行とともに色やデザインを変えてきています。昔は赤だったけど、今は青がメインという村もあります。

コーヒー豆の旅じたく



グアテマラのコーヒーはどのように作られているの？ 出荷までの過程を見てみよう！



① コーヒー豆はもともと、コーヒーの木に生る実の種です。ではそのコーヒーの実、どんな色・形をしていると思いますか？
まず、コーヒー豆を絵に描いてみましょう。次に、実はどんな色・形か、描いてみましょう。

② 下のカードは、グアテマラのコーヒー農園におけるコーヒー豆が出荷されるまでの工程です。さて、どんな順番で進められるのでしょうか。考えて並べ替えてみてください。



●水で洗う	●水につける
●脱穀する	●果肉を除いて種にする
●出荷する	●乾燥させる
●種の周りのぬめりを取る	

③ カードには、実は欠けている工程が3つあります。それは何だと思いますか？ また、それは工程の中のどこに入るとと思いますか？ 欠けている工程を付箋に書き、②に追加してみましょう。

④ コーヒーの木は、強い直射日光に弱い植物です。グアテマラのコーヒー農園では、日陰を作るために「シェードツリー」と呼ばれる背の高い木を、コーヒーの木の間に植えています。この「シェードツリー」、日差しから守る以外にある役割があります。それは何だと思いますか？ ヒントから思いつくことをどんどん出してみましょう。



ヒント！

- ・背の高いシェードツリーがあると…？
- ・シェードツリーの葉が落ちると…？
- ・シェードツリーを植えることで木の種類が増えると…？
- ・シェードツリーによって木陰ができると…？

⑤ ②～④をやってみて、グアテマラのコーヒーはどんなコーヒーだと思いますか？ 意見を出し合ってみましょう。



コーヒーの精製方法には、水洗式と非水洗式があり、グアテマラは水洗式が主流です。前者は透明感のあるさわやかな酸味を持つコーヒーに、後者は複雑でソフトな風味を持つコーヒーになります。



深いコクと芳醇な酸味 世界で最も良質なコーヒー

グアテマラは世界有数のコーヒー産地です。国土の南側を通るシエラマドレ山脈にそうように、山腹にコーヒー栽培地が広がります。グアテマラで作られているのは、標高の高い地域で栽培されるアラビカ種。標高が高いところは気温が低く、コーヒーの実を日数をかけてじっくりと熟成され、硬く豊かな酸味を持つ良質な豆になります。高地による寒暖の差、それによって生まれる霧、雨量、火山性土壌が含む豊富なミネラルなど、地形も気候もおいしいコーヒーが育つ条件がそろったグアテマラで、「世界で最も良質」と称されるコーヒーが作られています。



<コーヒーの実と構造>



wikipedia

<コーヒー豆として出荷されるまで>

※欠けていたのは①⑧⑨の工程です。

1 収穫する

12月～2月、真っ赤に熟したコーヒーの実を手摘みで収穫。重さなどの質をチェックし、基準を満たしたもののみ精製工場へ。

2 水につける

精製工場では、まず大きな水槽に実を入れる。良質なものは重く、底に沈む。水に浮く軽いもの、および傷んでいるものは不良品として除く。

3 果肉を除いて種にする

除肉機械に入れ、外皮、果肉、内果皮(パーチメント)に分ける。

4 種の周りのぬめりを取る

パーチメントに付着している糖分のぬめりを取るために、水をはった発酵層につける。

5 水で洗う

パーチメントのぬめりを、最後は水洗いで取る。

6 乾燥させる

人の手によって丁寧に天日干しにされる。約2週間の間、1日数回ならし、乾きむらのないようにまんべんなく干す。

7 脱穀する

乾燥したパーチメントを脱穀機にかけ、銀皮を取り除き、焙煎する前の「生豆」となる。

8 豆の品質をチェックする

人の目で、生豆の大きさ、重さ、色などの最終的な品質選別をする。この作業は、多くの場合女性が担っている。

9 商品としての品質テストをする

少量の生豆をテスト用に焙煎し、カップテストを行う。カップと呼ばれる品質管理者が、芳香・風味・酸味・バランス・全体形・コク・後味の7つの項目についてチェックをする。

10 出荷する

袋に詰め、出荷する。

コーヒーの実は、マヤ人労働者の手摘みによって収穫されます。機械を使えば効率は一上がりますが、熟していない実まで採ってしまいます。品質を保つためには、熟した実をひとつひとつ丁寧に手で摘む必要があるのです。マヤの人々は、もともと手先が器用かつ繊細で、古代より農耕技術に長けていました。収穫から豆の最終チェックまで、グアテマラの良質なコーヒーはマヤの伝統技術と人々の手によって保たれています。

グアテマラのコーヒー農園の多くは、小・中規模の個人経営です。1969年に設立されたコーヒー生産・輸出業者の組合「Asociacion Nacional del Café (全国コーヒー協会)、通称Anacafé (アナカフェ)」では、コーヒーの品質を高めるべく、国内の栽培農家に対して細やかな技術指導を行っています。市場情報の提供、土壌の分析も行い、同時に、環境保護にも取り組んでいます。良質のコーヒーを作るにはきれいな水で洗う必要があり、そのためには豊かな森が必要です。森を維持する努力と環境との調和を大切にしながら、農地の緑地化や土壌の改良等も行っています。

アナカフェは、ただ作って売るのではなく、生産者の利益を守りながら、「味と品質の向上」「マヤ伝統文化の尊重と継承」「環境への配慮」を三位一体とした活動を展開しています。中米地域において、コーヒーに対してこのような組織的な取り組みがされているのは極めて稀なことです。

木で木を守る シェードツリーの役割

森を切り開き、直射日光の下で育てた方が効率も収穫量も上がるでしょう。しかしそれでは画一的になり、栽培地ごとのコーヒー本来の質が変わってしまいます。シェードツリーは高地の強い日差しを適度に遮り、コーヒーの木の呼吸や光合成を調節してくれます。コーヒーの木は、シェードツリーに守られながらゆっくりと育ち、土地ごとに個性ある豆を作ります。グアテマラでは、シェードツリーに「インガ」や「グラビリア」というマメ科の木が植えられています。マメ科の植物は、根に土の栄養分となる窒素を溜める性質があります。それに加えて落ち葉もまた肥料となり、コーヒーにとって良質な土を作っています。

<その他の役割>

- ・風よけになる。
- ・雨期の大量の雨から土地の浸食を守る。また、土壌の水分も保つ。
- ・樹木が増えると生息する生物も増え、環境との調和を図れる。その結果土も豊かになる。
- ・渡り鳥の重要な生息地になる。
- ・炎天下での作業にならないため、労働者の健康も守られる。 など



収穫を迎える真っ赤に熟したコーヒーの実は、「コーヒーチェリー」と呼ばれます。対して、未成熟で収穫された豆を「ブラックビーン」と呼びます。



フォトギャラリー

～旅はチキンバスに乗って～

グアテマラの足はもっぱらバス。国内をバス路線がはりめぐらされています。中でも庶民的なのは2等クラスのボンネットバス。車内は人、物でいっぱいです。農村部では荷物として犬や豚や鶏も乗せるためか、「チキンバス」と呼ばれています。見どころいっぱいのグアテマラの旅、バスに乗ってさあ出発!



グアテマラ南部には、3,000m級の山々が連なる。タフムルコ火山は中米最高峰の4,220m! 眼下に雄大な景色が広がる。



マヤ遺跡の代表格「ティカル」。人口は少なくとも1万人、最盛期は10万人ともいわれる巨大都市で、大小3,000以上もの建造物、石碑、祭壇が発見されている。遺跡を囲む熱帯雨林に多くの動植物が生息していることから、文化、自然ともに普遍的価値があるとして、世界複合遺産に登録されている。





石灰石でできた天然のプール「セムク・チャンペイ」。エメラルドグリーンが美しい。

世界一美しいといわれる、中米で最も深い湖「アティラン湖」。



世界遺産の古都アンティグア。スペイン植民地時代のコロニアル風の建物が今も残る町。奥に見えるのは在留邦人から「グアテマラ富士」と親しまれているアグア火山。



色とりどりの鮮やかなマヤの民族衣装。グアテマラの最大の魅力のひとつで、その美しさは見る人の心をひきつける。



丁寧に織られた色鮮やかな織物。市場ではお土産物としても人気。各所で開かれる定期市は、グアテマラ観光の目玉のひとつ。





ちょっとブレイク

～ 国旗の由来・定期市 ～



なぜ似てる？ 中米5カ国の国旗



グアテマラは、紀元前にまでさかのぼる長い歴史を持つ国です。先住民が暮らしていたこの土地に、初めてヨーロッパ人が訪れたのは1523年のこと。キリスト教への改宗と、征服・植民地化を目的としたスペイン人でした。

マヤ文明には、馬や武器になるような金属器はありません。しかしスペイン軍はそれを持っています。圧倒的な軍事力で先住民の村々を征服し、次第にエルサルバドル、ホンジュラスへと侵攻していきました。拡大する支配地域を統括するため、グアテマラを中米における中心地として、植民地を統治するための組織である総督府を置きました。しかし、スペイン人の貴族たちは、富と権力をめぐって争い合うようになり、統治はうまく機能しませんでした。貧富の差が広がりスペイン人への不満が高まる中、アメリカ独立革命(1776年)とフランス革命(1789年)という、ふたつの大きな革命が起きます。その影響で、グアテマラでも独立を目指す動きが生まれていきました。

19世紀初め、スペインはフランスのナポレオン1世との戦争にまきこまれ、多くの犠牲をはらいました。もはやグアテマラ統治を維持するのは難しいと考え、1821年、グアテマラの独立宣言に署名しました。スペインからの独立です。同時に、グアテマラ総督府領だったホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカも独立しました。その後、この5地域が結束して、中米連邦共和国(中米連邦)を発足させます。現在の国旗が似ているのは、これら5つの国が連邦共和国だったからなのです。国旗のうち、ホンジュラスの5つの星、エルサルバドルの5つの旗と5つの火山、ニカラグアの5つの火山は、中米連邦5カ国を表しています。

*ベリーズはというと...?

1786年、カリブ海側の領土が一部スペインからイギリスに割譲され、英領ホンジュラスとして統治されていました。1981年に独立し、現在に至っています。英領だったため、ベリーズの公用語は英語です。

グアテマラといえば定期市！



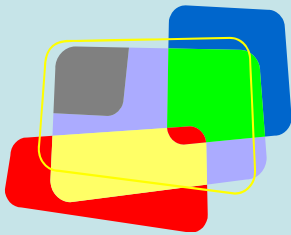
グアテマラには300以上の市町村があり、そのうち8割以上で毎週決まった曜日に定期市が開かれています。商品は、食材から衣料品、日曜雑貨や家具などまで多種多様。牛・豚・ヤギを売る家畜市もあります。生活必需品がなんでもそろう定期市は、スーパーマーケットがある都市部においても、庶民にとって生活に欠かせない重要な場所です。織物や手芸品などマヤならではの土産品も売られ、市を目当てにした観光客もたくさん訪れます。

グアテマラの主要産業は農業です。市でもたくさんの種類の野菜が売られ、日本の八百屋と変わらないほどです。農家の人々が、余った作物を必要なものと交換する場合があります。1970年代までは、地方市場では物々交換が盛行していました。現在は、地方市から産物を大量に買い付け、首都などの消費地で小売をする「マヨリスタ」という大規模卸商人も存在します。

市が開かれる場所は、ほとんどの市町村で市役所や教会などがある広場です。人々の情報交換の場であり、教会に足を運ぶ機会にもなっている市は、単なる「買い物をする場所」にとどまらない社会的な機能を備えています。村落が多い地域では、商人たちが巡回して商いができるよう、村ごとに違う曜日に開催しています。また、近年の農園労働者のサラリーマン化に合わせて、金・土・日の週末に多く開かれる地域もあります。人々の生活と密着し、その地域の自然条件や社会条件に合わせて行われているのです。大勢の人々が集う市は、近年ますます活性化する傾向にあります。

 第2章

へえ～！グアテマラと日本



意外と似てる？ グアテマラと日本



グアテマラと日本、似てる？ 似てない？ ウソホントクイズに挑戦してみよう！

① グアテマラの主食トウモロコシは、日本のお米のようなもの。トウモロコシを蒸して作るグアテマラ版「ちまき」もある。



② ジャがいも、トマト、とうがらし。これらは全てグアテマラのある新大陸原産の野菜だ。



③ グアテマラの国鳥ケツァールは、手塚治虫の漫画「火の鳥」のモデルだ。



wikipedia

④ グアテマラは日本と同じ活火山の国だが、地震はほとんど起きない。



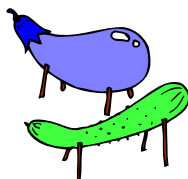
⑤ グアテマラにも、日本の富士山のような「グアテマラ富士」と呼ばれる山がある。



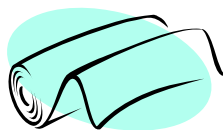
⑥ 日本の暦には「太陽暦」「旧暦」「二十四節季」と種類があるが、マヤの暦は「マヤ暦」ひとつだけだ。



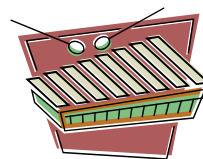
⑦ グアテマラにも、亡くなった人の魂が返ってくる、日本のお盆のような日がある。



⑧ グアテマラの伝統的な布は「腰機（こしばた）」で織られる。これはグアテマラ独特の方法で、日本にはない。



⑨ 木琴の「マリンバ」、もとはアフリカの楽器だが、グアテマラで今の形が作られた。



マヤの様式では遺体は頭を西に向け葬られます。「新しい命が得られて起きあがったとき、昇る太陽を拝まれるように」という意味があります。



1

ホント

「タマル」という、トウモロコシを挽いた粉に豚油と水を加えて加熱して練ったものをベースにした蒸し料理があります。鶏や豚肉の切り身、かぼちゃの種、唐辛子などを入れて蒸したり、チョコレート味の甘いものもあります。いずれも、バナナなどの大きな葉に包み、十字に紐をかけて蒸します。お祭りのときに食べられるご馳走料理です。

グアテマラの食はトウモロコシ抜きには語れません。トウモロコシの挽き粉「マサ」を円形に薄く伸ばした主食の「トルティーヤ」、マサをトウモロコシの葉に包んで蒸した団子「タマリート」、マサを水で溶きトロリとなるまで煮た飲み物「アトル」があります。また、「チチャ」というトウモロコシから作る醸造酒もあります。お酒には、伝統儀式の中で豊作を願い祝うための供物、豊かさの象徴としての意味があります。日本のお米と似ていますね。

2

ホント

すべて新大陸原産の食用植物です。ほかに、かぼちゃ、インゲン豆、ピーナッツ、アボカド、カカオなどもそうです。コロンブスのアメリカ到達後にヨーロッパに持ち込まれ、世界各地で栽培されるようになりました。イタリアのトマトソースも、ドイツのジャーマンポテトも、元をたどれば新大陸なのです。世界の食文化はここから変化し、地球の人口がこれまでの2倍以上養えるようになったと言われています。

3

ホント

長い尾羽を持つ美しい鳥ケツァールは、火の鳥のモデルとされています。カゴに入れると死んでしまうため、「誇り高い鳥」「自由の象徴」として中米で人気です。羽は光の角度によって光沢のある青や緑に色が変わります。その美しさから装飾品として重要な交易品となり、かなりの数が乱獲されました。熱帯雨林破壊の影響もあり、現在は絶滅危惧種に指定されています。



▲ケツァールの模様の織物

4

×ウソ

グアテマラは活火山が多く地震が多い国です。過去、グアテマラは自然災害によって2回首都を移しています。1541年のアグア火山噴火によってテクパンから現在のアンティグアへ、1717年と1773年の地震によってアンティグアから現在の首都グアテマラシティへと移しました。



▲アグア火山

5

ホント

アンティグアにあるアグア火山です。標高は3,766m。形も高さも富士山に似て、在留邦人から「グアテマラ富士」と呼ばれています。

6

×ウソ

マヤ暦は、主なものに「ツォルキン暦」「ハアブ暦」「長期暦」があります。ツォルキン暦は、マヤの宇宙観において最も重要な暦で、宗教儀式の指標として用いられます。ハアブ暦は、種まきや収穫など季節と農耕活動に関連した暦で、太陽暦と同じく1年は365日です。長期暦は、20進法に基づいた暦で、起点となる0年から直線的に時間を表します。1日は「キン」、20キンで1ヵ月「ウィナル」、18ウィナルで1年「トゥン」、20トゥンで20年「カトゥン」、20カトゥンで400年「バクトゥン」という、とても長いスパンでの単位があります。紀元前3114年8月11日が0年で、2012年12月21日に12バクトゥンが終わり、新しく13バクトゥンが始まります。

7

ホント

11月1日、「死者の日」という祝日があります。亡くなった人の魂が帰ってくる日で、家族で食事を作り、お花と一緒に墓にお供えします。墓地では、直径2m以上もある大きな円形の凧を揚げます。凧はこの世と天とをつなぐもので、先祖は凧に乗って下りてくると考えられています。



腰機で布を織る女性 ▶
(ソノラ県サンファン・ラ・ラゲーナ)

8

×ウソ

腰機はとてもシンプルな作りで、木の棒で作られた織り道具とも言えます。同じ方法で織られる布が日本にもあり、沖縄の「伊波メンサー」、アイヌの「アツツシ」、八丈島の「カッペタ」がそうです。

9

ホント


木琴楽器「マリンバ」の発祥はアフリカですが、スペイン人が奴隷として連れてきた西アフリカの人々によってグアテマラに持ち込まれ、19世紀後半のグアテマラで今の形が生まれたといわれています。お祭りや結婚式、祈祷やミサ等の宗教儀式的の伴奏、観光客向けのアトラクションなど、様々な場面で演奏され、グアテマラの国民的楽器と呼ばれています。

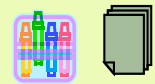


マリンババンドによる演奏 ▶



グアテマラ人が見た日本、日本人が見たグアテマラ

 グアテマラと日本、お互いどんな国か見てみよう!



- 1 まず、「グアテマラ人チーム」と「日本人チーム」の2つのグループを作ってください。
- 2 それぞれ別のワークをします。

[グアテマラ人チーム]

- ①あなたはグアテマラ人です。グアテマラからはるばる日本にやってきました。時は1905年。当時、日本はどんな様子だったでしょうか。文化や習慣、出来事などを調べてみましょう。
- ②調べたことのうち、外国の人に「日本ってこんな国だよ」と紹介したくなるものを選んでください。
A4用紙に、選んだことと紹介したい内容、特徴、魅力などを書いていきましょう。
- ③書き出したら、「〇〇な国、日本」というようにタイトルをつけ、紹介できるようにまとめてください。

[日本人チーム]

- ①あなたは日本人です。グアテマラに来ています。まずはP.15～16のフォトギャラリーを見てみてください。
- ②ギャラリーの中から「いいな」と思う写真を1人1枚選んでください。
- ③グループで、それぞれ選んだ写真を理由も含めて紹介し合い、「へえ」「いいな」「おもしろいな」など思ったことをA4用紙に書いていっていきましょう。
- ④グアテマラの印象や特徴を、他の人にも紹介できるようにまとめてください。

- 3 今度はグアテマラ人チームと日本人チームが混ざるようにグループ替えをし、お互いにまとめたことを紹介し合ってみましょう。
- 4 グアテマラと日本、交流を深めるにはどんな方法がありそうですか？
アイデアを出し合って、「交流イベント」を考えてみましょう。



グアテマラには、お酒とたばこを捧げると願いをかなえてくれる「マシモン」という神様がいます。願い事によって異なる9色の口ウソクがあり、赤は恋愛、ピンクは健康、そして、黒は相手に災いをもたらします。



『誇り高く優雅な国、日本』 エンリケ・ゴメス・カリーヨが見た日本

1905年、一人のグアテマラ人が日本を訪れました。当時ヨーロッパを拠点に活躍していた報道文芸家、エンリケ・ゴメス・カリーヨ(1873～1927)です。国際ジャーナリストの草分け的存在であり、後にスペイン新聞社の革新児、報道文学の第一人者と呼ばれ、現代スペイン語散文の生みの親の一人に数えられている人物です。様々な話題をジャーナリストとしての鋭い観察力をもって記事にまとめてマドリードの新聞に投稿し、時に世論を左右するほど大きな影響力を持っていました。

カリーヨは、新聞社の特派員として来日し、同年8月から約2～3カ月の間東京に滞在していました。当時の東京は人口約200万人、洋式ホテルは3軒しかない時代でした。日本について、『マルセーユから東京へ』と『日本の魂』の二冊の本を執筆し、それらを編集し直したものが『誇り高く優雅な国、日本』です。1912年にマドリードで出版されたこの本は、「お辞儀と微笑み」という項目から始まり、日本人の美学、武士道、刀、切腹の作法、自然を愛でる心、宗教、女性が置かれている境遇、盆栽、四十七士、笑いの文化など、実に隅々にわたって日本を紹介しています。日常や文化を細やかに観察し、表面的に見ただけでは分からない日本の姿を深くとらえています。また、急速に近代化する東京において、社会の格差や貧困、飢餓の現状にも触れ、それらは西欧化、効率化重視によって生まれていると考察する場面もあります。ありのままの日本を伝えたカリーヨの著書は三冊とも大きな評判を呼び、ヨーロッパの人々の日本に対するイメージはこの本から作られています。

表向きは新聞社の特派員として来日したカリーヨですが、本当の目的は別にあったのではと考えられています。白人優越説がヨーロッパ人にとって絶対的価値観だった当時、日露戦争で白人の中でも列強のひとつであるロシア帝国に黄色人の国日本が勝利し、世界に衝撃を与えました。スペイン系の父親とベルギー家系の母親を持つカリーヨは、ロシアに勝利した日本とはどんな国かを自分の目で確かめたいと興味を持ち、その実像をヨーロッパに知らせると同時に、自分を納得させるだけの勝因を見出そうと考えたのが来日の最大の動機であったと思われる。ヨーロッパには無い文化を目の当たりにし、日本に魅せられたカリーヨは、帰路の旅先から友人ルベン・ダリオに「もしあなたが私の葬式で弔辞を述べるようなことがあったら、私の魂が東洋の芸術家のそれであったということ、そして金色に輝く漆で大和の花や小鳥や娘たちの姿を描きたいと願っていたということをお忘れずに伝えてほしい」と書き送っています。

スペイン語圏のモダニズム運動の父と呼ばれる偉大なニカラグアの詩人

『日本人の写真館』 アンティグアを愛した屋須弘平

中米諸国と日本は、1935年に正式な外交関係が樹立される以前から様々な交流が行われていました。そのうちの人的交流における代表的な人物が屋須弘平です。岩手県出身の屋須弘平(1846～1917)は、金星観測のために来日したメキシコの天文観測隊の通訳を務めたのち、1874年に同隊と共にメキシコへ渡ります。その後メキシコで起きたクーデターによってグアテマラ市に移ることになりました。初めは帰国の旅費を作るために働きに入った写真館でしたが、やがて技術を習得し、独立して「フォトグラフィア・ハポネサ(日本人の写真館)」を開きました。その後、アンティグアの美しい街並みに魅了され、まもなく移り住むことを決めます。アンティグアで改めて写真館を開き、人々だけではなく街の風景や建築物なども数多く写真に残しました。グアテマラ人の妻を持ち、アンティグアを愛した屋須は、その地で生涯を閉じています。1990年、フォトグラフィア・ハポネサの写真は写真集となり、フランスで写真国際会議写真賞を受賞しました。グアテマラ国内でも、屋須の写真技術は高く評価されています。現在、写真の一部は、アンティグアにあるメソアメリカ地域調査研究所に保存されています。

グアテマラと日本の文化交流

音楽家として平和をつなぐホルヘ・サルミエントス

ホルヘ・サルミエントス(1931～)は、グアテマラが誇る作曲家・指揮者で、現代ラテンアメリカを代表する音楽家です。外務省企画の第2回中南米フェスティバルで来日した際に広島平和記念館・原爆資料館・原爆ドームを訪れ、核兵器のない平和な世界を願うヒロシマをテーマにした作品「ひろしまのピカ」を完成させました。画家、丸木俊が作った絵本と同じ題名を曲につけています。1995年8月4日に原爆投下50周年コンサートとして名古屋で初演されたことをきっかけに、今日に続く両国の音楽交流が始まりました。

「テアトロ カタリベ」創業者アベル・ソラレス

演出家アベル・ソラレス(1954～)は、シャーマンであり語り部である祖母の影響で、身体による自己表現の世界に興味を持っていました。歌舞伎や能など、日本の伝統芸能の身体表現の繊細さや独特の発声方法などに魅了され、演劇グループ「テアトロ・カタリベ」を創立しています。2000年に世阿弥の能「砧(きぬた)」をベースにした演劇で、日本の演劇に関連した優れた海外での上映作品に贈られる内村直哉賞を受賞しました。世界平和を願い「国境のない芸術活動」を信念に持つソラレスは、現在東京を拠点に活動し、日本で学んだことを海外に発信しています。



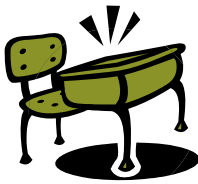
グアテマラには、中米で唯一のノーベル文学賞受賞作家がいます。グアテマラの風土や歴史を題材にした作品を生み続けた作家・詩人、ミゲル・アンヘル・アストゥリアスです。

グアテマラの教育ウソ？ホント？

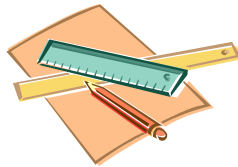


グアテマラの教育って？ ウソホントクイズで考えてみよう！

① グアテマラの学校は、日本と同じく4月から始まる。



② グアテマラでは、小学校は9歳から始まる。



③ 初等教育の間は、無料で学校教育を受けることができる。



④ グアテマラの識字率は80%よりも低い。



⑤ グアテマラの小学校では、授業は英語で行う。



⑥ 公用語だけではなく、先住民族の言葉でも授業を行う学校がある。



⑦ ラテンアメリカ・カリブ諸国で、学力調査が行われている。グアテマラは、参加15カ国中7位だ。



⑧ グアテマラには大が1校も無い。



⑨ グアテマラには、日本人の子どもたちが通う日本人学校がある。



国鳥「ケツァール」は、グアテマラの通貨の単位にもなっています。和名は「カザリキヌバネドリ」といいます。体は35cmぐらいですが、尾羽根は60cmからそれ以上あり、全長は約1mにもなります。



1 **×ウソ** 1月から始まり、10月に年度が終了します。11～12月は、長期のお休みになります。

2 **×ウソ** 7歳から始まります。小学校は6年間、中学校は3年間、高等学校は3年間です。

3 **ホント** 7歳から14歳までが義務教育で無料です。しかし、それにもかかわらず多くの子どもたちは学校に行っていないのが現状です。マヤ系の子どもたちの多くは家族とともに畑で働き、学校に行く時間がないのです。また、農作業を優先するため、親が通学に反対することもあります。



▲サン・アントニオ村の子どもたち
着ているのはこの村の民族衣装



黒山真弓

農作業はマヤの重要な文化であり、子どもたちは家の手伝いを通じて畑仕事を覚えていきます。受け継がれる生活と伝統文化を壊さないよう、畑仕事をしながら学校教育を受けられるようにすべきと考えられています。農村よりも都市のほうが学校に通っている子どもの割合は高くなりますが、高等学校からは有料になるため、多くの子が8年生までで学校をやめてしまいます。高等学校まで通って卒業するのは、グアテマラの子どもたちのうちわずか3分の1です。

4 **ホント** 識字率は中米でもっとも低く、80%を割っています。農村部、先住民、女性の識字率が特に低く、教育の普及と地方農村での教育施設の整備、教員不足解消が大きな課題です。

5 **×ウソ** グアテマラはかつてスペインに支配されていたため、公用語はスペイン語、授業もスペイン語で行われます。グアテマラにある22のマヤの言葉はそれぞれ独立した文系を持ち、お互いの言葉を理解できません。そのため、公用語であるスペイン語が共通語として大切になってきます。しかし、母語であるマヤの言葉しか分からない先住民の子どもたちは授業についていけず、退学してしまうこともあります。

6 **ホント** 1988年に政府は、マヤ文化復興運動である「マヤ言語アカデミー」を、マヤ言語を保護する組織として公認し、先住民の子どもたちは母語での授業を受けられるようになりました。グアテマラの山岳地帯にあるキチェ県にて、小学校でスペイン語とキチェ語の2言語教育が行われています。キチェ県は、キチェ語を話すマヤの先住民が83%と多く、識字率が低い地域です。また、ラテンアメリカの国々では、「2言語・異文化統合新学校」という新しい学校プログラムが広がっています。「新しい学校」という意味の「エスクエラ・ヌエバ」という教育方法で、コロンビアの農村から生まれました。年齢の異なる集団を基本として、子どもの権利と民主的参加を重視する学校です。エスクエラ・ヌエバは、グアテマラでは12校から始まり、2000年に210校まで広がりました。今後さらに2,000校を目指して取り組んでいます。

7 **×ウソ** 15位中14位でした。グアテマラ政府は教育の質の向上を重視し、「最貧困地域を中心として就学率の向上」も政策のひとつに掲げています。JICAでは、グアテマラからの要請を受け、算数指導力向上プロジェクトを実施しました(2009年～2010年)。算数科の教材作成、小学校教員の指導力向上技術支援を行っています。

8 **×ウソ** 10校あります。アンティグアにあるサン・カルロス大学は、中央アメリカで最も古い歴史をもつ大学で、1676年に創立されました。

9 **ホント** 首都グアテマラシティにあり、2012年で35年目を迎えます。教育はもちろんのこと、現地の学校との交流やトウモロコシの収穫祭、餅つきなど日本文化の体験も行っています。



日本人学校トウモロコシ収穫祭▶



グアテマラ日本人学校ホームページ





ちょっとブレイク

～おいしいコーヒーをどうぞ～



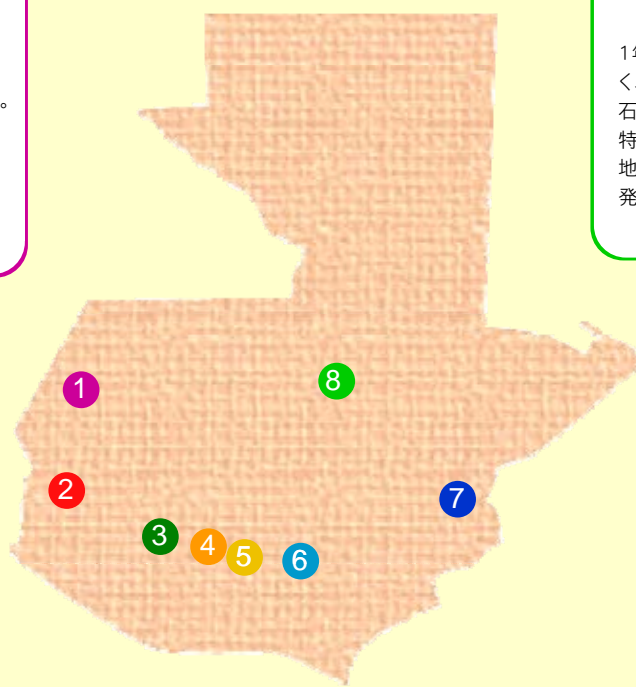
グアテマラ全国コーヒー協会「アナカフェ」

グアテマラのコーヒー栽培地は、火山の斜面や山麓、湖畔などに点在しています。農園ごとに標高や気候、日射、土壌の特徴が異なり、この違いを「微気候(マイクロクライメント)」といいます。グアテマラコーヒーの特徴である高品質の豆と味の多様性は、この微気候から生みだされています。グアテマラ全国コーヒー協会「アナカフェ」では、栽培方法の均一化によって画一的な味になるのを危惧し、地域の特性に根ざした栽培を最も大切にしています。数ある栽培地の中でも、特に品質がよいとしてアナカフェが認めた8つの地域があり、栽培されたコーヒー豆はその土地のオリジナルブランドとなっています。小さな国土ながら味の多様性があり、それぞれの個性ある味がグアテマラコーヒーの魅力です。

アナカフェは、グアテマラコーヒーの質を追求し続けると同時に、コーヒーをひとつの文化財にまで引き上げるべく取り組んでいます。農家の誇りと情熱を維持し、マヤ民族の農法や手仕事の文化を取り入れ、環境に配慮した持続可能な「品質が良くおいしいコーヒー」の栽培を信念にしています。将来的には、生産から販売、経営まで全てを担えるコーヒー生産のプロフェッショナルを育てる大学の設立も考えています。

【アナカフェが認めた8つの地域】

それぞれの味と特徴を紹介します。



1.ウエウエ Huehue

上品な強い酸味とココ
ワインにも似た香り

グアテマラのコーヒー栽培地
のうち、最も高地にある地域。
豊富な水量を持つ川も流れ
ている。都市から離れている
ため、農園と一体となって
コーヒー加工も行う農家が多
い。

8.コバン Cobán

フレッシュフルーツの香り
バランスの良いココ

1年を通じて曇りや雨が多
く、湿度が高く涼しい気候。
石灰岩と粘土質の土壌が
特徴。起伏の激しい丘陵
地帯は、細やかな霧がよく
発生する。

2.サンマルコス San Marcos

花のような香りの酸味
豊かなココ

7地域中、最も気温が高い場
所で、降雨量が多い。火山
性質が強く通気性に富む土
壌を持つ。コーヒーの花が一
番早くに開花する地域。農
園独自で自家製ミルを持ち、
コーヒーを加工している。

7.オリエンテ Oriente

深いココがあり
チョコレートのような風味

雨が多い地域。山間地帯
は主に変成岩で、ミネラル
分が豊富に含まれる土壌
を持つ。コーヒー栽培の歴
史は比較的新しく、小規
模農園による栽培が特徴。

3.アティラン Atilán

さわやかな柑橘系の香り
深いココ

グアテマラの火山性土壌の
うち、最も有機物を含んで
いる土地。冷たいアティラン
湖の上を風が通ることにより、
微妙な寒暖をもたらす。オー
ガニックコーヒーを栽培して
いる農園が多い。

4.アカテナンゴ Acatenango

強い酸味と芳醇な香り
すっきりとした後味

自然からの贈り物である密
度の高い森が育つ。フエゴ
火山の噴火によるきめ細か
な土とミネラル豊富な土壌
が特徴。太平洋からの暖かく
強い風が、伝統的な天日干
しを可能にしている。

5.アンティグア Antigua

豊かな芳香が漂う
甘く優雅な味わい

フエゴ火山の噴火により、ミ
ネラルを含んだ灰が肥沃な
土壌を作る。低い湿度、強い
日差し、夜の低い気温が特
徴。グアテマラで最も古く、
有名な栽培地域。

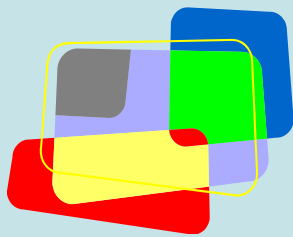
6.フライハーネス Fraijanes

冴えわたる酸味
濃厚なココ

活火山「フライハーネス山」
「パカヤ山」を中心とした高
地。ミネラル分豊富な火山
灰が降り、水はけのよい土壌
を持つ。1日の寒暖の差、朝
霧の発生、乾季の日中の日
差しの強さが特徴。

 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



二度とふたたび...



グアテマラの歴史を振り返り、未来のために必要なことを考えよう。



- 1 1992年、冒険家クリストファー・コロンブスがヨーロッパとアメリカ大陸を結ぶ航海路を発見してからちょうど500年のこの年に、コロンブス500年記念として世界各地で催しものが行われました。次の資料は、それらの内容と日本で伝えられたニュースの記事です。読んでみて、「コロンブス500年」に対してイメージすることや感想をA4用紙に書き出してみてください。

1992年、コロンブスのアメリカ大陸の発見を記念して、様々な「コロンブス500年記念」が行われました。

- ・全世界で200冊もの関係書が出版されました。
- ・少なくとも30カ国で公式なお祝いイベントが開催されました。
- ・記念の切手や硬貨、限定モデルの時計が発売されました。
- ・コロンブスの故郷であるイタリアのジェノヴァ市では、海洋博が開催されました。
- ・アメリカ合衆国オハイオ州コロンブス市では、国際花市が開催されました。使われたお金は1億ドルです。
- ・日本では、復元されたサンタ・マリア号で大航海と銘打って、テレビ局が記念特別番組を作りました。

- 2 P.31の資料 を読んでみましょう。読んだら、グループで感想を話し合ってみましょう。
 - 1 で書き出したA4用紙を見て、気づいたことを話し合みましょう。

- 3 では次に、グアテマラの歴史を見えます。P.31の資料 を読んでください。読んだら、グループで感想を話し合ってみましょう。

- 4 グアテマラには36年にもおよぶ内戦の歴史があります。たくさんの命が奪われた、二度と繰り返されてはならない歴史です。二度と繰り返さないためには、どんなことが必要でしょうか。できることを考えてみてください。



先住民族の人々のことを「インディヘナ」といいますが、これはコロンブスがアメリカ大陸に到着したとき、そこがインドだと思ったことに由来しています。



先住民たちの「抵抗の500年」

クリストファー・コロンブスは、ヨーロッパとアメリカ大陸を結ぶ航海路を発見した冒険家であり、各地の未来を大きく変えることになる植民地時代の幕を開いた人物でもあります。コロンブス率いるスペイン軍は、先住民族に対して略奪や虐殺を行い、その後続くスペイン人の植民地支配でも搾取や奴隷労働は行われました。土地、資源、宗教、言葉、文化、伝統、命...、先住民の人々は生きるうえで大切にしてきたあらゆるものを奪われ続けてきました。きびしい現実に適応できずに自殺したりアルコール中毒になる人も多く、1650年までに約800万人の先住民が死亡したと言われていています。また、侵略者とともに上陸した病気に免疫を持たない先住民たちは、次々に命を落としていきました。コロンブス時代から始まった帝国主義論理は、今日でも開発途上国の貧困化や環境破壊、人種差別の傷を増幅させています。

先住民と黒人は長い間奴隷状態に置かれ、もっともひどい抑圧と過酷な条件のもとで生きました。「先住民・黒人・民衆の抵抗の500年キャンペーン」は、先住民族と抑圧されてきた階級の視点から500年の歴史を問い直した取り組みで、未来の共存に向けての歩みを続けています。

二度とふたたび... REMHI(レミー)の取り組み

1961年から1996年までの36年間は、グアテマラにとって最も暗く悲しい時代でした。恐怖の時代ともいえるこの内戦では、マヤ系先住民に対して、拉致、虐待、強制徴兵、洗脳、拷問、強姦、虐殺など、あらゆる人権侵害が残虐極まりない方法で政府軍によって行われました。種を根絶やしにする目的で、女性や子どもも殺戮の対象になりました。人口の大半をマヤ民族が占めるキチェ県に犠牲者が集中しているのがこの内戦の特徴で、政府軍がいかに先住民を対象に人権侵害をしてきたかが明らかになっています。

内戦さなかの1995年4月、カトリック教会が中心となり、犠牲者の証言を集める活動が始まりました。「悲しい歴史を二度とふたたび繰り返すまい」という共通のスローガンの下、『歴史的記憶の回復プロジェクト(略称REMHI:レミー)』と名づけられたこの活動では、「勇気づける人々」「働きかける人々」という意味のアニマドールと呼ばれる650人の調査員が聞き取りを行いました。アニマドールは村の志願者から養成され、自身が虐待を受けたり肉親を殺されたりしている直接の犠牲者であるケースも少なくありません。外部の人間ではなく、内部から自分たちの経験を再構築する努力がされたことにレミーの真骨頂があり、社会再生の一環でもありました。活動の目的は、自らの経験を語ることで恐怖を克服し、経験を共有することで心の傷を癒し、尊厳を回復するための支援を行い、暴力の真実を明らかにすること、二度と繰り返されてはならないことを認識する手立てが「記憶」であるとして、弾圧の恐怖の中、調査は続けられました。寄せられた証言は6,494件にもおよび、全4巻1,600ページを数える報告書『グアテマラ・二度と再び』にまとめられました。証言に来た人々の一番の目的は、真実を明らかにすることでした。復讐よりも、加害者が法的に裁かれることを望み、多くの犠牲者がレミーの証言を次の世代へ伝えていくことの重要性を語っています。

【レミーの証言(一部)】

苦しみをやわらげるためには、全てを明らかにしなければなりません。ただそうすることでしか傷を癒すことはできないでしょう。わたしたちの歴史を、まさに身を持ってこんなにも苦しんだのですから。

(証言0569ゲリラ構成員の暗殺ケクチ女性 アルタ・ベラバス県 コパン ラ・ラゲーナ1981年9月)

赦すかどうか、ですか。加害者が鉄格子の向こうにいるのを見るまでは、赦すことはできません。ここでも、どこでも、このままになっているなんて許せません。不可能です。

(証言2155強制失踪アルタ・ベラバス県タクティク1983年)

武器があったせいであれだけの殺戮が行われたのだから、兵士の数を少なくすべきです。暴力をなくし、問題を解決するためには、まず貧しい者に土地を分けることです。そうすれば暴力も他の問題も起こらないでしょう。

(証言6629アルタ・ベラバス県コパン サバラウ農園1981年)

復讐などありませんように。だって、復讐することでまた暴力が始まるのだから。たかがちっぽけな土地をめぐる。

(証言7442バハ・ベラバス県ブラン・デ・サンチェス1982年)

証言をしたら胸のつかえが取れました。わたしの苦しみをすべて話しましたから。わたしたちを訪ねて証言を聞いてくれてありがとう。とてもつらい思いをしていたので、これでほっとしました。神さま、ありがとうございます。話をして、落ち着きました。これが本になって歴史として残りますように。子どもたちが、わたしたちの苦しみを知ることができるよう。

(証言7462虐殺バハ・ベラバス県チユクパク村1982年)

すべてが書き記されますように。今幼い子どもたちがやがてこれを知り、再び繰り返されることのないよう努力するために。

(証言11418ウエウエテナンゴ県ハカルテナンゴ エル・リモナル集落 1982年)

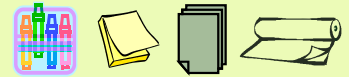


「グアテマラ 虐殺の記憶 歴史的記憶の回復プロジェクト」



内戦時代、政府軍は殺害した人を秘密裏に葬る「秘密墓地」を作っていました。行方が分からないままの人も多く、人権活動団体によって発掘作業が進められています。

手から伝わる物語



① グアテマラ製品を伝えるアイデアを、4～6人のグループになって考えてみよう。

- 1 P32の写真は、グアテマラの人々の手仕事による作品です。好きな物をひとつ選んでください。選んだら、それを選んだ理由も含めて紹介し合ってください。
- 2 作り手を紹介します。どんな人が作ったのでしょうか？ 写真やコメントを読んでみてください。



糸をつむぐ女性

私たちは土地を持っていません。織物が唯一の収入源です。製品はひとつひとつ手作りします。全て一点物、「世界にひとつだけ」です。



天然染色をする女性たち

わたしたちはマフラーを天然染色、手織りで作っています。染めも織りも、手間と時間をかけて一枚一枚丁寧に作っています。自然が作り出す色はとてもきれいで、柔らかい手触りで、使い心地の良いマフラーです。

ビーズのアクセサリ

台風の被害で農地を失った人たちが、生活を立て直すために作られた女性団体の作品です。長い尾羽と美しい羽根を持つグアテマラの国鳥、ケツァールがモチーフです。



Arte Maya Tz'utuhil

アルテマヤ・カレンダー

マヤ系先住民族のツツヒル民族とカクチケル民族の人たちが描く素朴画のカレンダーで、画家の紹介と絵の解説、マヤ文字による暦も入っています。カレンダーは、アメリカのNGO「NISGUA (the Network in Solidarity with the People of Guatemala)」と、マヤのアーティストをサポートしている「Arte Maya Tz'utuhil (アルテ・マヤ・ツツヒル)」の支援によって作られています。カレンダーの収益は、グアテマラとアーティストへの支援に使われます。

- 3 あなたたちは、グアテマラ製品を扱うお店を出すことにしました。選んだ商品につけるPOP (値段やウリなどが書かれた商品説明の札)を作ってください。
- 4 どんなお店にしますか？ アイデアを出しながら、模造紙にお店のイメージを描いてみましょう。
 - ・お店の名前を考えてみよう
 - ・商品を並べるレイアウトを描いてみよう
 - ・お店オープンのチラシを作ってみよう
 - ・そのほか、思いついたことは書き込んでいこう
- 5 グアテマラ製品を伝えるには、お店を出す以外にどんな方法がありますか？ アイデアを出し合ってみましょう。



マヤの人々には「共同体」という習慣があります。村全員がひとつの家族のようにつながり助け合う習慣で、強い絆を持っています。



道を切り開く女性たち

内戦時代、多くの先住民女性が夫を失いました。大切な人を理不尽に奪われるという耐えがたい苦痛の中、家事や機織りなどの家庭での伝統的な役割と、働きに出て経済的に一家を支えるという本来夫が担う役割とをこなさなければならない現実に直面し、加えて「貧困層」「先住民」「女性」という三重の差別に立ち向かわなければなりません。壮絶な環境において女性たちは、社会構造の問題を解決するべく結束し、様々なグループを設立しました。活動の中で女性自身が自分たちの持つ力と社会に対する意識を変えていき、強い自尊心をもって社会参加への道を切り開いていきました。グアテマラの人権問題と社会変革において女性たちが果たした役割は大きく、決して無視することのできない存在です。

グアテマラ最大の人権組織【つれあいを奪われたグアテマラ女性たちの会】

Coordinadora Nacional de Viudas de Guatemala(コナビグア)

政府軍による大虐殺で夫が連行、殺害されたことをきっかけに、7万人の残された妻たちが痛みと苦しみを分かち合うために集い、1988年に設立されました。人間の尊厳と正義を求めて団結し、放棄された遺体の発掘や暴力の証言などの行動を起こしてきました。政府軍による脅迫行為が及ぼす恐怖の中、強い勇気と信念をもって平和的手段で抗議と法的整備のための運動を組織的に続けています。その後会員は1万5千人にのぼり、ほとんどが先住民です。現在は、シングルマザーや独身女性も加わっています。

守られるべき基本的人権と平和のための行動



ロサリーナ・トゥクク氏

人権擁護活動の中から、女性の指導者も生まれました。コナビグア共同代表であり、国会副議長を務めたロサリーナ・トゥクク、アメリカ大陸の先住民で初めてのノーベル平和賞受賞者リゴベルタ・メンチュウ、活動中に殺された文化人類学者ミルナ・マックの妹でグアテマラを代表する人権活動家ヘレン・マック、GAM(失踪者家族の相互支援組織)創設者のひとりニネット・モンテネグロらです。彼女たち自身も内戦の犠牲者であり、恐怖と闘いながら、グアテマラの現状を国内外に告発し続けてきました。彼女たちの声は国際世論の目をグアテマラに向けさせ、その結果生まれた国際社会からの圧力によって国が動いていきました。

マヤの民族衣装は出身地ごとにデザインが違いますが、リゴベルタ・メンチュウは様々な村の衣装を組み合わせ身にとっています。それは、自身が一先住民村落出身の女性ではなく、「マヤの女性」であることを表現するためです。民族衣装は目に見える無言の言語であり、グアテマラの先住民を歴史的・文化的存在としての「マヤ」に位置づけようという彼女の強いメッセージが込められています。くしくも、コロンブス500年の1992年にノーベル平和賞を受賞し、その賞金で人権擁護基金「リゴベルタ・メンチュウ基金」の設立しました。

知ってる？「フェアトレード」の商品

「フェアトレード」とは、生産者の権利を守り、商品を公正な値段で買い取る貿易のこと。自然環境や生産者の労働環境に配慮して作られるため、オーガニックの製品もたくさんあります。フェアトレードの商品は、「作る人」「買う人」「地球環境」に優しい商品なのです。買い物をする側が商品の背景を知り、未来をよりよく変えるための価値観を持って選択することで、世界の環境破壊や貧困を食い止めることにつながります。

グアテマラには、内戦の影響によって困難な状況に置かれてきたマヤの女性たちによる手工芸品の団体があります。伝統的な織物で作られる製品、かわいらしいビーズで作られるアクセサリーなど、多様な商品が女性たちの細やかな手仕事によって作られ、貴重な収入源となっています。

あなたは自分の欲しい物を買うとき、どんな基準で物を選びますか？安いから？見た目がいいから？便利だから？私たちは、常に選択をしながら暮らしています。そしてその選択は、私たちの未来へとつながっています。想像してみてください、もし私たちが身の回りの物フェアトレードの商品でそろえたら…。未来に向けて、選択の基準をもう一度考えてみてください。

ちなみに、コーヒーのフェアトレード商品第1号はグアテマラコーヒーです。1973年、グアテマラの小農民協同組合からオランダへ輸出されました。

各手工芸品の団体紹介はP.33へ



内戦時代、迫害から逃れるため森の奥深くに身を隠したマヤの人々で作られた「抵抗の共同体」という組織がありました。10年近くにわたって自給自足の生活を続け、子どもたちに識字教育も行っていました。



資料

【抵抗の500年】

「コロンブス500年」の数年前から、北・中・南アメリカ大陸に生きる先住民族たちは「抵抗の500年キャンペーン」を行ってきました。コロンブスの到来によって始まった植民地支配という占領と搾取は、土地とともに生きる先住民たちからあらゆるものを奪い続けてきました。抵抗の500年キャンペーンでは、各国政府が進める祝祭に反対するだけでなく、これに代わる独自の提案や行動を起こそうとしました。各地の先住民族の代表者たちは定期的に会議を重ねて組織を作り、アメリカ大陸全体を対象とする大会を呼び掛け、コロンブス500年記念に公然と抗議をしてきました。コロンブスは「アメリカ大陸を発見した」と言われますが、その前から先住民族の人々はそれぞれの土地に生き、自然とともに暮らしてきたのです。

先住民族たちの「大陸発見の祝い」へのボイコット行動には様々な弾圧が加えられ、軍による逮捕者、死者・負傷者も出ていますが、それに屈することなく活動は続けられました。「抵抗の500年キャンペーン」はその後、「先住民・黒人・草の根大陸運動」と名称を改め、「あらゆる搾取・抑圧・人種差別に対して戦う広範囲で多様性を持ち多民族、多国籍、多文化であることを特徴とする反植民地主義・反帝国主義の民主的で自立した運動」として、他の大陸の運動体とも連帯しながら継続していくことが決められています。

資料

【グアテマラの歴史】

グアテマラには、さかのぼること紀元前からマヤの人々が暮らし、高度な文明を築いていました。そこに、スペイン人が現れたのは1523年。植民地支配とキリスト教への改宗を目的にやってきたのです。マヤの人々は抵抗しますが、銃などの武器を持つスペイン人に太刀打ちできませんでした。スペイン人は先住民の人々の土地を自分の農園にし、強制的に働かせました。ひどい虐待から逃れるために、住みなれた村を後にして遠くの場所へ逃げる人もいました。1821年の独立後も、スペイン人の子孫による支配は続き、独裁者の軍人大統領が現れては倒されの繰り返しでした。混乱の中、外国企業も進出し、1898年にはアメリカのユナイテッド・フルーツ社が広大なバナナ農園を作り、安い労働力として先住民の人々を働かせました。グアテマラの土地をアメリカの飛び領土として搾取し、利益を得ていきました。

1944年、グアテマラに初めて民主主義的な大統領が誕生します。貧しい農民を守る法律を作り、当時のグアテマラ経済を支配していた外国の企業にも規制をかけました。しかし、そうした動きが周辺国へ広がるのを恐れたアメリカは、反政府派・親米派を支援しクーデターを促しました。1954年、ついに政権は崩壊し、グアテマラは再び軍人による政治へと逆戻りしてしまいます。1961年に、保守的な政府軍と改革派のゲリラ組織の間で国家権力をめぐって内戦が起こりました。政府軍はゲリラの活動拠点を壊すために村々を焼き払い、たくさんの罪のない人を殺していきました。また、マヤの人々の団結を恐れ、人々をゲリラの仲間だとして徹底的に攻撃しました。どこに誰が住んでいるかのデータを取って、国が組織的に行っていたのです。虐殺の92%が政府軍によるものでした。この内戦によって626もの村が破壊され、死者・行方不明者は20万人以上、国内難民150万人、国外難民15万人以上にも上ります。死者・行方不明者のうち90%は非戦闘員、犠牲者の83%がマヤ人でした。内戦は36年間にもわたり、今も人々の心に傷痕を残しています。



天然染色・手織りのマフラー(サンホセ女性手工芸家協会)



ビーズのケツァール携帯ストラップ
(モスタンシージャ)



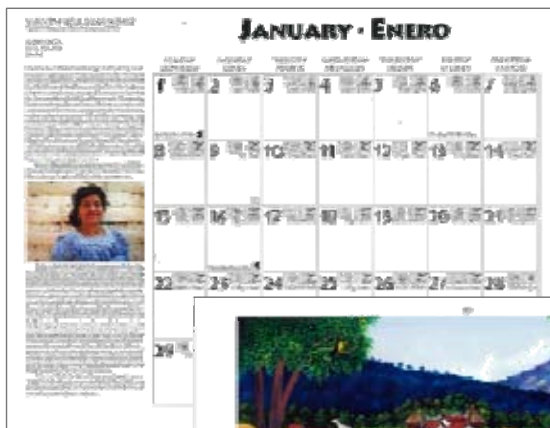
天然染色の糸
(サンホセ女性手工芸家協会)



手織り布のコインケース
(グアダルーベ協同組合)



手織り布の鍋つかみ
(グアダルーベ協同組合)



グアテマラの素朴画カレンダー

Arte Maya Tz'utuhil



ちょっとブレイク ～ 信念と行動～



活動団体紹介



「希望をはぐくむ女性たち」協会研修ファシリテーターのチャニスさん
キチエ県の隣、ソロラ県に住んでいる。キチエ語が堪能で、キチエの状況、特に女性の状況をよく把握していることから研修ファシリテーターとなる

【「希望をはぐくむ女性たち」協会】

内戦時代、政府軍による攻撃が最も激しかったキチエ県にて発足した女性組織。活動の中で、自分には何も無い、何もできないと思いこんでいた多くの女性が、やがて人前で自分の意見を述べるようになり、育てた家畜を売って資金を得ることができるようになり、明日への希望を持つようになり、各村のリーダーから成る運営委員は、毎月会議を開くだけでなく、各村を訪問して末端の活動のサポートもしています。2011年、日本ラテンアメリカ協力ネットワーク(レコム)が支援し、組織強化プロセスを始めました。外部からファシリテーターを呼び、戦略や活動計画の作成についての研修を行っています。

【サンホセ女性工芸家協会】

サンファン・ラ・ラグーナという町の土地を持たない女性のための組織。唯一の収入源である織物を共同販売することで、生活の改善を図ることを目的に設立されました。地域の自然を活用した植物由来の天然染料の糸で製品を作り、伝統を回復しながら他にはない上質な製品を作り出しています。



【グアダルペ共同組合】

内戦時、女性たちが政府軍による暴力から暮らしを守るために連帯して生まれた組織。本部はチマルテナンゴ県ポアキル市という小さな町にあります。雇用が限られる町において手工芸品は大切な収入源となり、家計を支えています。課題は、女性たちが作品をどこにもむかってアピールしたらよいかの情報が得られていないこと。レコムは、フェアトレード商品の販路の開発も含めて支援をしています。

【アディサ】

雇用機会が少ない地方都市住民の中でも、特に貧しい生活を強いられる障がい者とその家族が立ちあげた組織。事業コーディネーターも車椅子生活者です。主にアクセサリーや、カゴなどの台所用品を作っています。インフラや医療サービスが十分にではないこの地域で、ものづくりの場は障がい者と家族、地域の人々が集う場所にもなっています。



「希望をはぐくむ女性たち」協会の集い

【モスタンシージャ】

2005年に発生したスタン台風による大規模な土砂崩れで農地を失った女性たちが、生活再建のために設立した組織。作品はアディサにて委託販売もしています。



真実を明らかに 信念の人、ヘラルディ司教

ファン・ホセ・ヘラルディ・コネデラ司教は、政府軍による弾圧が激しくなる1970年代、特に軍の標的となっていたキチエ県の司教を務めていた人で、内戦犠牲者の証言を聞き取り調査によって集めた『歴史的記憶の回復プロジェクト(略称:レミー)』の代表を務めていました。国が行う人権侵害を真っ向から批判し、グアテマラの現実を国内外の世論に訴え続けました。いかなる手を使っても軍の暴力はおさまることを知らず、マヤ民族への殺戮はエスカレートするばかりでした。司教は、数年間の事実上の亡命生活を経て、首都にグアテマラ大司教区人権オフィスを構え、人権侵害事件の調査と被害者救援に尽くしました。やがてカトリック教会司教団も軍政と人権侵害に対する批判を強めるようになり、植民地時代からの先住民族への布教のありかたを自己批判する教書も発表され、抑圧され続けてきた先住民たちの信頼を得ていきました。

1998年4月26日、レミーの調査結果が人々の前で司教自身の口から公表されました。しかしその2日後、司教は無残な遺体となって発見されました。75歳になる司教が、顔が識別できなくなるほどセメントブロックで殴られ殺害されたのです。和平協議締結後のこの暗殺は国を揺るがす大事件であり、「記憶の殺害」、「真実の殉教」と言われ、国内外に大きな衝撃を与えました。司教の死はグアテマラの転換点となり、2001年、3人の軍人に司教殺害の罪で有罪判決が下されました。グアテマラで現役の軍人が裁判にかけられたのは、これが初めてのことでした。



第4章

そして未来へ

P.36の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。




教材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・バプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

 2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは...?

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？まずは自由に話し合ってみましょう。



 東日本大震災写真保存プロジェクト





- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 36～37の資料を見て、どんなことを感じますか？

- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』（P. 37）の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？

-  日本はどうなっていたいでしょう？
-  みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？
-  日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？
-  そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24カ国/地域
+ 5機関

派遣された人数
1,200名以上
(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約84億
5,000万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163カ国/地域
+ 43国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126カ国/地域
国際機関
総額175億円以上

(11月1日現在)



モロッコ
4月11日、アル・ホセイマ(2004年大地震があり日本も援助)の小学生8人が被災した子どもを励ますとともに日本への感謝を込めた絵をユニセフ事務所に託しました。

アイルランド
自宅前の道にテーブルを出して被災地支援のためクッキーを売る子どもたち



アメリカ
4月4日~8日、イリノイ州シャンバーグ市のドゥーリー小学校が募金活動週間「Hands on Japan」を行いました。手形のバナーの作成や支援を訴えて歩くイベント「Walk for Japan」を実施しました。



アメリカレスキューチームが、宿营地としていた小学校の卒業式に参加しました。

ウガンダ
多数の閣僚、政府関係者、市民等から様々なお見舞いが寄せられています。

ベトナム
3月31日、ハノイ・アカデミー・スクール校長、生徒が生徒のつくった手形集や生徒が祈りをささげている風景を収めた写真を日本大使館に託しました。



グアテマラ
サッカー場で草の根の募金運動が行われ、サッカー観戦の市民が募金に応じました。



カタール
日本の子どもたちへの応援のメッセージを込めた絵です。

カザフスタン
3月18日、Miras学校生徒が共同制作したお見舞いの寄せ書きが大使館に届けられました。



トンガ
5月5日、バオトゥ小学校の校長、生徒5名などが日本大使館を訪問し、義捐金を託しました。



ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。

心が温くなるメール ~ 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より~

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan(日本のために祈る)」という投稿が届きました。そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたいらしい。「日本人でしょう? 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしくちゃ。



誰かに頑張ってもらいたいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



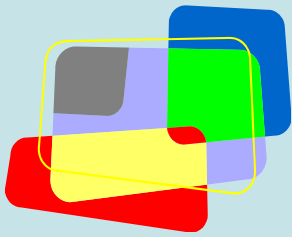
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 资 料



目で見えるグアテマラ




この国旗で太平洋からカリブ海までの国全体の平和を表し、青色は独立と、国が二つの海に面していることを表しています。白は平和です。中央の紋章には「1821年9月15日独立」と書かれており、国鳥のケツァルが描かれているほか、月桂樹が勝利と栄光、ライフル銃とサーベルが防衛を示しています。

人口 (2009年)


 14,027,000人




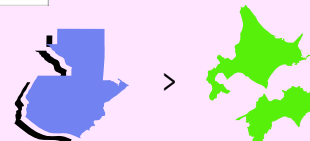
 127,156,000人



面積

 108,889km²
(北海道と四国を合わせた広さよりやや大きい)

 377,947km²



言語

スペイン語(公用語) その他に22のマヤ系言語他あり

宗教

カトリック プロテスタント等
(信教の自由を憲法上保障)

気候帯

沿岸部低地: 熱帯雨林気候
熱帯サバナ気候

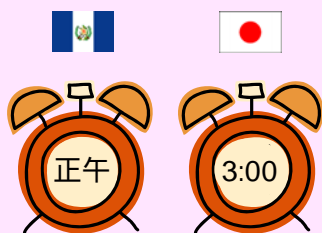
通貨

ケツァル

民族

先住民 非先住民(混血 欧州系)
(2006年国立統計院全国生活実態調査)

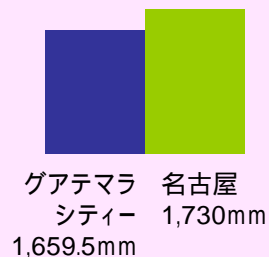
日本との時差
-15時間



平均気温



年間降水量



国旗: 『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』苅安望編著(平凡社) 面積・首都・宗教・民族・言語・通貨: 外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 人口: 世界子供白書2011(ユニセフ) 日本の面積: 総務省統計局「日本の統計2011」 気候帯: 外務省ウェブサイト「探検しよう! みんなの地球」 平均気温・年間降水量: Instituto Nacional de Sismologia Vulcanologia Meteorologia e Hidrologia (INSIVUMEH) Ministerio de Comunicaciones Infraestructura y Vivienda Guatemala C.A. ウェブサイト(INSIVUMEH観測所2011年のデータ) 名古屋の平均気温・年間降水量: 愛知県ウェブサイト「ポケット情報あいち-土地・気象、人口、農林漁業、事業所(平成22年)」 日本との時差: 『世界の国一覧表 2007年版』(財団法人世界の動き社)

主要産業

農業(コーヒー バナナ 砂糖 カルダモン)
繊維産業



**日本との
貿易主要品目**



コーヒー 胡麻の種 カルダモン等



自動車関連製品 鉄鋼 電子機器・機械

一人あたりのGNI (2009年)

2,630米ドル

37,870米ドル



**5歳未満児の死亡者数
(出生1000人あたり)**

40人

3人

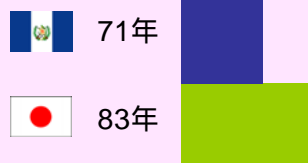
**都市人口の比率
(2009年)**

49%

67%



**出生時の平均余命
(2009年)**



**人口増加率
(2000～2009年)**

2.8%

0.0%



在留邦人数

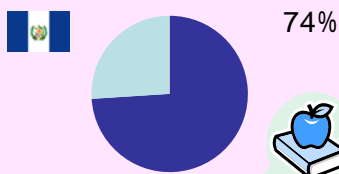
365人
(2011年10月現在)

在日グアテマラ人数

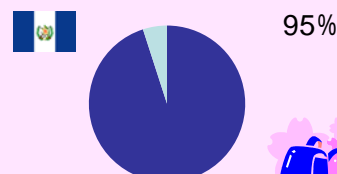
112人 (2010年 法務省
外国人登録者数)



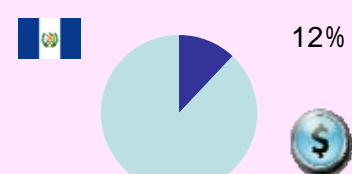
**成人の総識字率
(2005～2008年)**



**初等教育
純就学/出席率
(2005～2009年)**

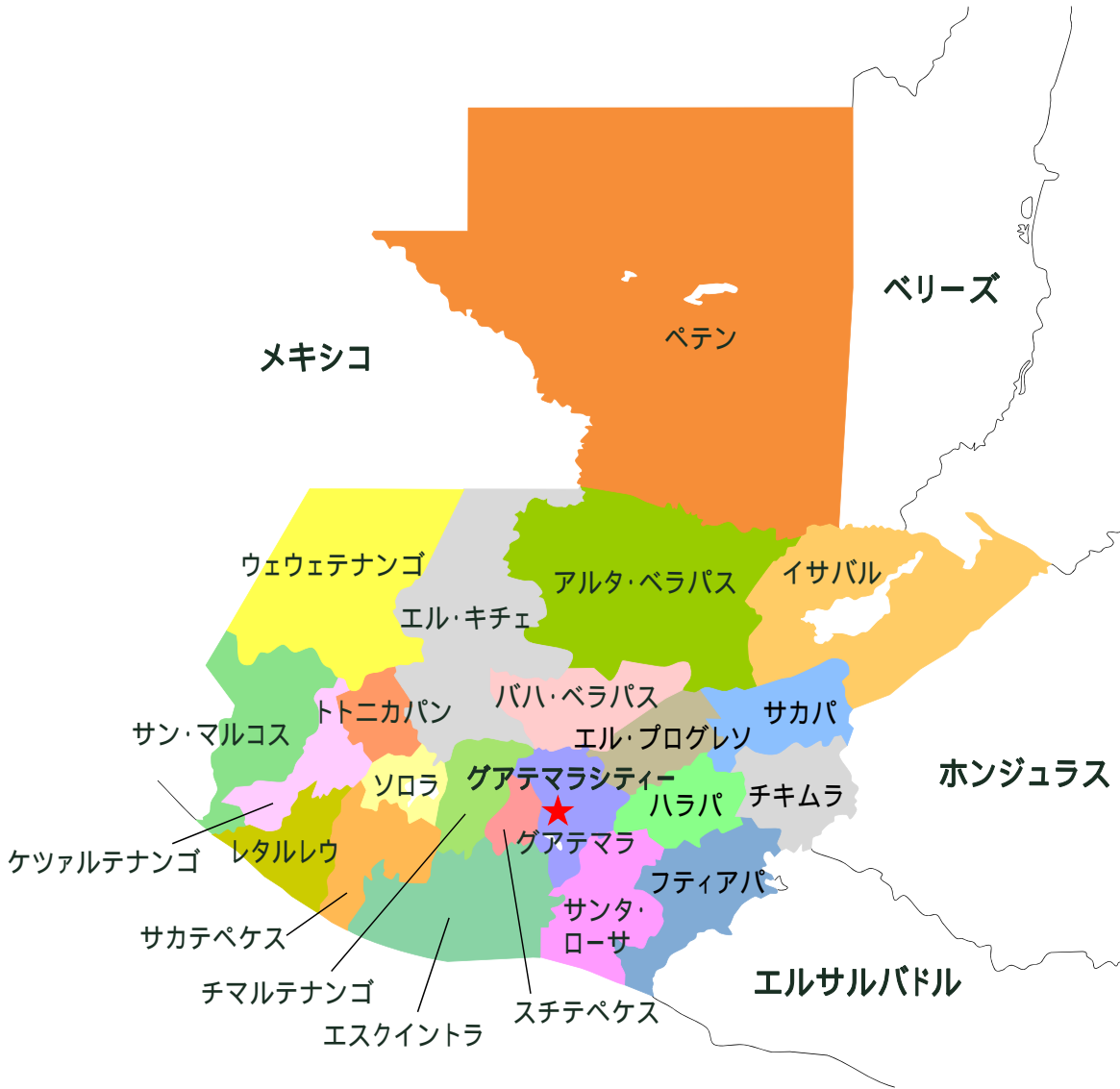


**1日1.25米ドル未満で
暮らす人の比率
(1994～2008年)**



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 在日グアテマラ人数:務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」 一人あたりのGNI・出生時の平均余命・人口増加率・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率:世界子供白書2011(ユニセフ)

グアテマラ地図



中央アメリカ





中央アメリカ





参考文献・データ等の出典

外務省ウェブサイト

- 「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
- 「探検しよう! みんなの地球」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>
- 「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
- 「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」 http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
- キッズ外務省「世界の学校を見てみよう」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/kuni/>

総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社

在グアテマラ日本国大使館 <http://www.gt.emb-japan.go.jp/mainJA.htm>

ラテンアメリカ博物館 <http://www.latenamerica.com/>

マヤ遺跡探訪 http://www.geocities.jp/ruinas_maya/

マヤ文明に挑む マヤ考古学者中村誠一 http://www32.ocn.ne.jp/~maya_copan/

CADENA グアテマラ女性の自立を伝統織物の継承発展から支援する会 <http://www.h5.dion.ne.jp/~cadena/>

グアテマラ全国コーヒー協会 <http://www.guatemalancoffees.com/>

独立行政法人国際協力機構「国別取り組み・グアテマラ」<http://www.jica.go.jp/project/guatemala/002/outline/>

グアテマラ日本人学校 <http://www.geocities.jp/ejaponjp/>

日本ラテンアメリカ協力ネットワーク(レコム) <http://www.jca.apc.org/recom/>

開発と権利のための行動センター <http://homepage3.nifty.com/CADE/>

Arte Maya Tz utuhil <http://www.artemaya.com/>

『グアテマラを知るための65章』 桜井三枝子編(明石書店)

『ナショナル・ジオグラフィック 世界の国 グアテマラ』 アニタ・クロイ著(ほるぷ出版)

『目で見る世界の国々69 グアテマラ』 リタ・J・マーケル著(国土社)

『地球の歩き方 中米』(ダイヤモンド・ビッグ社)

『旅行人No.158 特集グアテマラ』(旅行人)

『グアテマラの弟』片桐はいり著(幻冬舎)

『CoyoteNo.31』(スイッチ・パブリッシング)

『コーヒー危機 作られる貧困』 オックスファム・インターナショナル著(筑波書房)

『誇り高く優雅な国、日本 - 垣間見た明治日本の精神』 E・G・カリージョ著(人文書院)

『いま、地球の子どもたちは 学校へ行けない子どもたち(教育)』 本木洋子・茂手木千晶著(新日本出版社)

『グアテマラ 虐殺の記憶 歴史的記憶の回復プロジェクト』 飯島みどり・狐崎知己・新川志保子訳(岩波書店)

『世界人権問題叢書17 グアテマラ先住民の女たち リゴベルタ・メンチュウと民主化への歩み』

伊従直子著(明石書店)

『私の名はリゴベルタ・メンチュウ マヤ=キチェ族インディオ女性の記録』 エリザベス・ブルゴス著(新潮社)

『トウモロコシの心 マヤの人々とともに』 古谷桂信著(高知新聞社)

『講座 世界の先住民民族08 中米・カリブ海、南米』 黒田悦子・木村秀雄編(明石書店)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

堀川絵美

黒山真弓



2011年度教材作成チーム





碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 **グアテマラ共和国** 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



